

児童発達支援・放課後等ディサービス評価表(事業者)

あるくと+

令和 3 年 2 月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	○			活動内容によって、部屋を使い分けている。特に、学習と運動は、別室で対応している。
	②	職員の配置は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口から全てバリアフリー化している。
業務改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			パートの職員を含め、毎週スタッフ会議を行い、問題提起・改善策を出し合い、毎日の昼礼で再度情報共有している。
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げているか	○			・年に一度実施。保護者さまから頂いたご意見を、今後の業務改善に活用させて頂いている。 ・保護者様からの声を日々の中でできる限り、聞かせて頂くようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開 arkto.net
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか			○	今後の検討課題としている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修だけでなく、外部での研修にも積極的に案内し、参加を促している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングにて月毎に予定を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節行事やの体験イベントなどを多く取り入れている。できる限り子供たちが積極的に参加できるように、企画・立案から関わられるようなプログラムを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			主に、平日は学習支援、休日や長期休暇は、集団活動を重視した体験学習(イベント)を設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			保護者の意向も伺いながら、計画を作成している。特に、コミュニケーションに関しては、個別にて体験学習を取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認をしているか	○			平日は昼礼、学校休日は朝礼を実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、振り返りを行い、翌日の昼礼の際にも再度、情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	○			個別に記録に残している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			相談支援事業所等を連携をとりながら実施
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		可能な限り複数で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校より予定の変更も含め、連絡を頂いている。送迎時に先生方との情報共有を行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れられる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現時点で受け入れなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		初回の担当者会議への就学前の利用機関等のご参加を、支援事業所を通して依頼している。見学なども可能な限りさせて頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行の際の担当者会議に、できる限り参加して、情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修には、できる限り参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか		○	地域の子ども食堂などを利用し、地域の子どもたちとも接する機会を設けているが、新型コロナウイルス感染予防のため、現時点では、交流は難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	日程調整ができれば、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に、その日の状況等お伝えしている。必要に応じて、個別面談など行うようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○	今年度、ティーチャーズトレーニングに10名受講。保護者向けの勉強会など、今後、実施していきたい。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明を行っているか	○		契約時に、説明をおこなっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や口頭でのご相談に対して、適時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		毎月1回(第3水曜日AM)、ママぶらす(保護者会)を実施している。今年度は、パパぶらすも2回実施。現在、平日に開催しているが、日程に関しては検討課題でもある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情箱を設置。 苦情などがあった場合は、迅速に対応できるように心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○		できる限りの配慮を行うように心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の消防団を招いて、感謝状の贈呈式などを実施している。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	保護者までには周知できていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回実施している。
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内での研修実施及び外部研修への参加を促している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか		○	現在、事例がなく、必要な場合は、計画に記載し保護者に同意を得るようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか		○	現在、対象者はなし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その都度、記録に残すようにしている。昼礼時に共有をしている。